

## 医学系研究科（医学専攻）の3つのポリシー

### 【修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

学位は下記の要件を備え、医学専攻の博士課程を修了した者、もしくは所定の期間医学専攻博士課程に在学し、必要な単位を修得した後、学位論文を提出し、論文審査および最終試験に合格した者に授与する。

臨床系：専門分野での最先端の学力、技能を修得するとともに一般臨床医学分野でも豊かな学識を身に付け、広い視野から自らの研究の立案・遂行・統括をすることが出来る。さらに研究結果を学会や学術論文で発表することが出来る総合的な能力を獲得している。

基礎系：専門分野において最先端の学力とともに臨床医学に関する幅広い基礎学力を身に付け、広い視野から自らの研究の立案・遂行・統括をすることが出来る。さらに研究結果を学会や学術論文で発表することが出来る総合的な能力を獲得している。

### 【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

博士課程では、医学専修カリキュラムとがんプロフェッショナル養成専修カリキュラムにより、各学生の所属講座等において高度に専門的な研究指導・教育を行う。基礎医学・臨床医学・社会医学それぞれの医学研究・教育の分野において中心的役割を担う人材を育てるべく講義と実習からなる共通カリキュラムを定め、各専門分野以外にも幅広く豊かな知識と技術を修得させる。がんプロフェッショナル専修では特にがん専門資格取得を可能とする講義・実習内容をカリキュラムに組み込む。さらにゲノムコホート研究コースを設置し、希望する学生に対してゲノムコホート研究に関してより実践的で俯瞰的・体系的なアドバンス教育を行う。

### 【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

医学研究は人の健康を維持、増進するために、病気の発症メカニズムを日々研究し、治療や予防に役立てることを目指している。博士課程では、近年の飛躍的に進歩しつつある医学研究に対応した高度の研究能力と豊かな学識を備えた医学研究者を育成するとともに、広く各方面の指導的役割を果たす人材の育成を目的としている。

また、がん対策の一層の充実を図るため、若い人材を啓発し、専門資格取得のために必要な学識、技能を修得させ、学際的かつ統合的な臨床研究推進能力を有したがん専門医を養成する。

このような目的のもと、医学研究を通して積極的に自らの能力を活かそうとする強い意欲を持った優秀な学生を広く募集する。

## 医学系研究科（生命環境医科学専攻）の3つのポリシー

### 【修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

#### 博士前期課程

学位は下記の要件を備え、生命環境医科学専攻博士前期課程を修了した者に授与する。

専門分野以外にも幅広く医科学一般に関する基礎的な知識と研究手法を修得している。また学術論文や学会発表の内容を理解することで、新たな研究領域にもチャレンジできる能力を身に付けている。さらに研究結果を学会で発表し討論することができる。

#### 博士後期課程

学位は下記の要件を備え、生命環境医科学専攻博士後期課程を修了した者、もしくは所定の期間生命環境医科学専攻博士後期課程に在学し、必要な単位を修得した後、学位論文を提出し、論文審査および最終試験に合格した者に授与する。

医科学研究を進めるために必要な最先端の深い知識と研究能力を修得し、さらに医科学一般の豊かな学識を身に付け、広い視野から自ら考え立案して研究を遂行することができる。さらに研究結果を学会や学術論文で発表することが出来る総合的な能力を獲得している。

### 【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

人文社会科学、工学、福祉など様々な分野の研究者が有機的に結合して地域に密着した最先端の研究を展開し、上記課題の解決を図っていくとともに、その研究成果を基に、研究の推進を実践する人材を育成するために、次のような観点に基づいて教育を行う。

1. 高度な生命倫理観を備えた人間性豊かな人材を育成する。
2. 学際的環境を整備することによる、広範な基礎的能力の上に創造力、応用力、実行力を合わせ持つ人材を育成する。
3. 最先端の知識・技術を習得できる体制の整備を通して、国際的な競争力を持つ人材を育成する。
4. 広い視野から独創的な研究を展開し、地域社会に貢献できる人材を育成する。

### 【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

現代社会では、医学研究に加えて、生命と環境の関わりを理解し、社会構造の変化に医療・行政・福祉の立場から柔軟に対応して、人の一生を包括的にサポートすることにより、健康で豊かな生活を可能にする戦略を探求する人材が求められている。

本専攻は、医療分野に限定することなく、人文社会科学、工学、福祉、行政など様々な分野の研究者が集まり、究極的に学際的な研究組織を構築することより、こうした課題の有効で具体的な解決を目指すため、分野にこだわらず意欲のある優秀な学生を広く募集する。

## 医学系研究科（看護学専攻）の3つのポリシー

### 【修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

#### 博士前期課程

学位は下記の要件を備え、看護学専攻博士前期課程を修了した者に授与する。

- ・ 基本的人権擁護と高い倫理意識、幅広い知識と広い視野を兼ね備え、人々の自己決定を適切に支援できる。
- ・ 科学的根拠に基づき、看護の現象、実践技術およびシステム上の課題を明らかにし解決するために、看護の研究を推進できる基礎能力を有する。
- ・ 多様なサービス提供の場にあつて、国内外を問わず学際的チームの協働・連携に寄与できる。

#### 博士後期課程

学位は下記の要件を備え、看護学専攻博士後期課程を修了した者に授与する。

- ・ 看護・介護の安全と質を保証する教育・研究・実践活動を自立して展開できる。
- ・ 高齢社会を担う子どもの健やかな心と精神発達への支援から高齢者の健康支援、虚弱、介護を要する高齢者、在宅療養者の尊厳ある生活への支援まで看護・介護に関する教育・研究・実践活動を自立して展開できる。
- ・ 高齢社会の看護高度専門職業人に不可欠な、豊かな学識と高い見識を備え基礎理論に基づく高齢者の疾病予防と生活支援方法を開発・整備し、教育・研究・実践への貢献を自立して展開できる。

### 【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

#### 博士前期課程

看護の現象を論理的かつ体系的に説明でき、看護研究を推進できる基礎能力を有する看護教育

- ・ 研究者、高度専門職業人を育成するため以下のようにカリキュラムを編成している。
- ・ 教育課程は「基礎看護学」「臨床看護学」「地域看護学」の3領域を設定している。
- ・ 履修課程は、主専攻領域の特論・演習・特別看護研究に加え、他領域の特論履修を定め、自由な選択により幅広い知識と広い視野を備えた総合力をつけるよう配慮している。
- ・ 看護研究倫理について、平成16年度に看護研究における倫理に関する申し合わせを定め、高い倫理意識に基づき手続きを具現化できる能力の習得に配慮し、修士論文合格基準の必要条件としている。
- ・ 修士論文審査では、論理的思考・説明能力の育成を考慮し、論文審査基準を公表し、公開制で実施している。

#### 博士後期課程

看護・介護サービス利用者の安全と安心の保証、尊厳ある生活と健康支援の発展に貢献

し、看護・介護の理論・技術・システム・人材育成の統合的な開発力を備えた研究マインドのある、自立した看護高度専門職業人の育成をめざし、以下のようにカリキュラムを編成している。

- ・「高齢社会看護学」の教育研究分野を設置している。
- ・教育・研究分野は、「安全・管理支援看護学」「生涯生活支援看護学」の2領域で構成している。
- ・授業は、2領域の学生が自己の研究課題領域について、学術基盤に基づき明確に説明できることを目標とした「高齢社会看護学特論」、博士の学位論文研究計画にふさわしい研究仮説と研究方法を具体的に立案できる能力の獲得を目指した「研究方法演習」、実践フィールドにおける指導者としての専門分野の活動を実際に展開し、地域や実践の場への新たな理論や技術の導入、システムや人材育成に向け高度専門職業人としての豊かな学識と高い見識を獲得することを目標とする「フィールド実習」、特論・研究方法演習・フィールド実習の成果を踏まえ、特別研究で博士の学位にふさわしい、科学的根拠に基づく研究方法・研究成果の考察を踏まえた学位論文を作成するように編成している。

#### 【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

##### 博士前期課程

- 専攻したい看護領域における基礎知識を身につけている人
- 倫理観を備え、科学的根拠に基づき、主体的に課題に取り組む意欲や探究心がある人
- 広く学識の涵養につとめるとともに、教育・研究・看護実践活動にリーダーとして貢献する意志がある人

##### 博士後期課程

- 専攻したい領域における看護研究を推進できる基礎能力を有する人
- 基本的人権擁護と高い倫理意識を兼ね備え、人々の自己決定を支援できる人
- 豊かな学識の涵養につとめるとともに、研究マインドのある看護高度専門職業人として、教育・研究・看護実践活動に貢献する意志がある人